

開講科目名 Course	租税法研究演習 2 年（杉浦先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18007
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 3
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	2,3,4
主担当教員 Main Instructor	杉浦 勝美
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	5 1 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	杉浦 勝美 (法学研究科修士課程)
授業の目標	
授業の概要	<p>1 . 授業の概要</p> <p>論文の完成に向けた具体的な作業を進める。 ゼミを通じて疑問点や進捗状況等を話し合うことにより目標達成に向けてのモチベーションを維持するほか、情報の交換を通じて効率的な作業に資することとする。</p> <p>(1) 年度開始までに論文のテーマを決定し、作業スケジュールを策定する。 (2) 4 月から 7 月 ... 論文の作成方針、論点整理、必要な資料収集の実施状況の発表と評価。 論文の中心となるところから書き始め、それぞれに対する意見交換と評価を実施する。6 月末開催の中間発表会に備える。 (3) 夏休み ... 自主ゼミを実施し、進捗のばらつきを防ぐとともに論文を全体的な形にする。 (4) 9 月 ... 整合性及び論理展開チェックを主眼に論文作成し、概要発表に備える。 (5) 1 0 月中 ... 初稿完成 (6) 1 1 月から 1 2 月 ... 論文精査とゼミ生による読み合わせチェック (7) 期限までに提出</p> <p>2 . 評価方法</p> <p>スケジュールに沿った進行管理の実施状況と論文の完成度による。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	
授業計画	
テキスト	
参考書	
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授 業	
担当教員の実務経験を活かした授 業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	

予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	